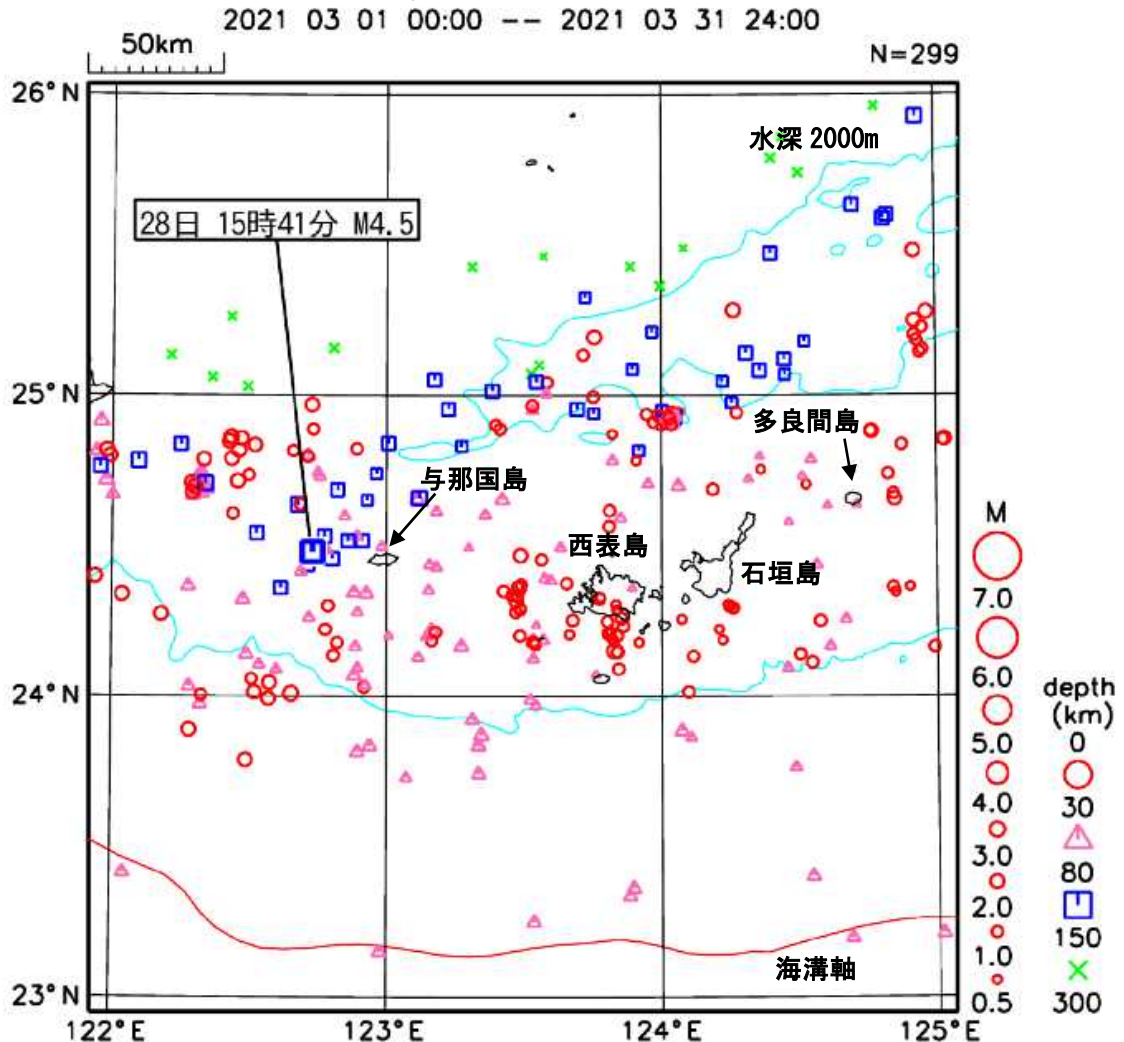


# 八重山地方の地震活動

令和3年(2021年)3月

石垣島地方気象台

## 震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ  
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)  
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

### 【概況】

今期間、八重山地方で299回(2月は199回)の地震を観測しました。震度1以上を観測した地震は2回(2月は5回)でした。

27日07時02分に宮古島北西沖(石垣島の北北東約210km、上掲震央分布図範囲外)で発生した地震(M6.2、深さ152km)により、鹿児島県徳之島から八重山諸島の西表島にかけて震度2~1を観測しました。(別紙参照)

28日15時41分に与那国島近海(与那国島の西約30km)で発生した地震(M4.5、深さ97km)により宮古島から与那国島にかけて震度1を観測しました。

## 八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：3月1日～31日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2021年03月27日07時02分 沖縄県	宮古島北西沖	26°04.6' N	125°02.4' E	152km	M6.2
震度 2：	名護市港＊、恩納村恩納＊、那覇空港、那覇市港町＊、北谷町桑江＊、西原町与那城＊ 豊見城市宜保＊、与那原町上与那原＊、座間味村座間味＊、渡名喜村渡名喜＊ うるま市みどり町＊、うるま市与那城平安座＊、うるま市勝連平安名＊ 八重瀬町具志頭＊、八重瀬町東風平＊、南城市玉城字玉城、南城市佐敷字佐敷＊ 南城市大里仲間＊、南城市佐敷字新里＊、久米島町謝名堂、久米島町比嘉＊ 多良間村塩川、宮古島市平良下里、宮古島市城辺福北、宮古島市平良池間 宮古島市上野新里、宮古島市伊良部前里添、宮古島市平良狩俣＊ 宮古島市城辺福西＊、宮古島市上野支所＊、石垣市登野城、石垣市平久保 石垣市新栄町＊、石垣市美崎町＊、竹富町大原				
震度 1：	名護市宮里、名護市豊原、国頭村奥、国頭村辺土名＊、今帰仁村仲宗根＊ 本部町役場＊、宜野座村宜野座＊、栗国村浜、那覇市樋川、宜野湾市野嵩＊ 浦添市安波茶＊、沖縄市美里＊、読谷村座喜味、嘉手納町嘉手納＊、南風原町兼城＊ 渡嘉敷村渡嘉敷＊、うるま市石川石崎＊、久米島町山城、久米島町仲泊＊ 南大東村在所、北大東村黄金山、北大東村中野＊、多良間村仲筋＊、石垣市新川 石垣市伊原間＊、竹富町黒島、竹富町波照間、竹富町上原青年会館＊				
鹿兒島県	震度 1：	伊仙町伊仙＊、与論町茶花＊			
-----					
2021年03月28日15時41分 沖縄県	与那国島近海	24°28.8' N	122°43.8' E	97km	M4.5
震度 1：	宮古島市伊良部前里添、石垣市登野城、石垣市新栄町＊、石垣市美崎町＊ 与那国町久部良、竹富町大原				

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※八重山地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

### ※ 資料中のデータについて

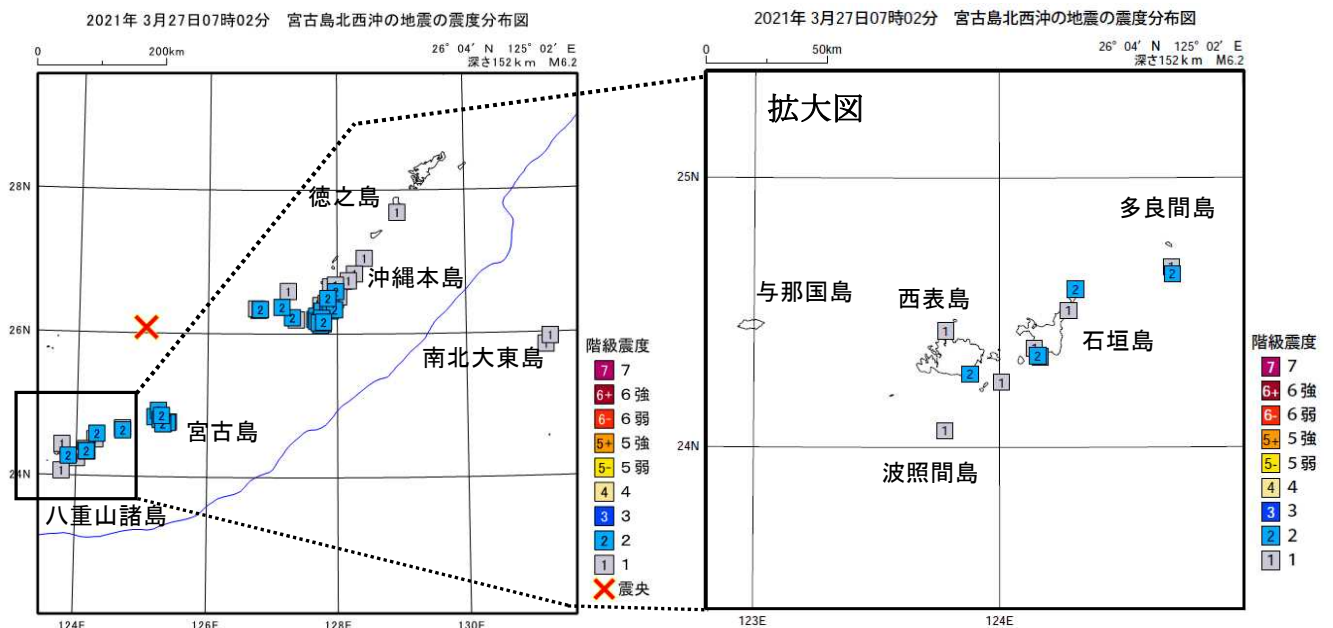
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

### ※ 概況中の震源の深さについて

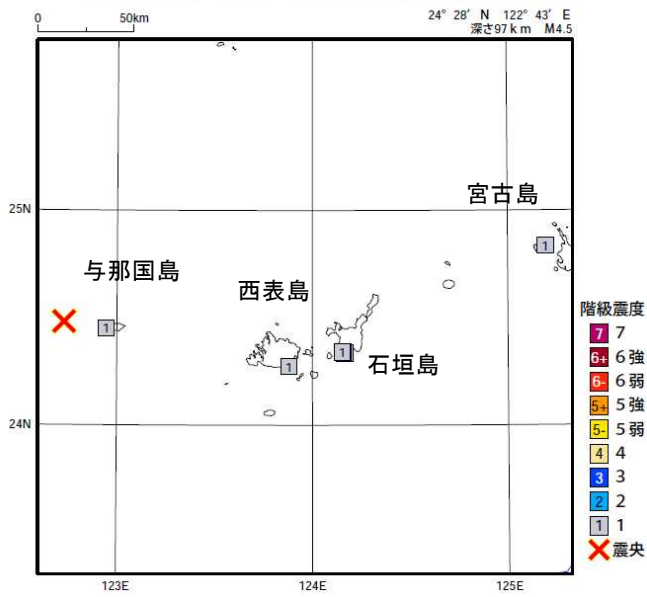
震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

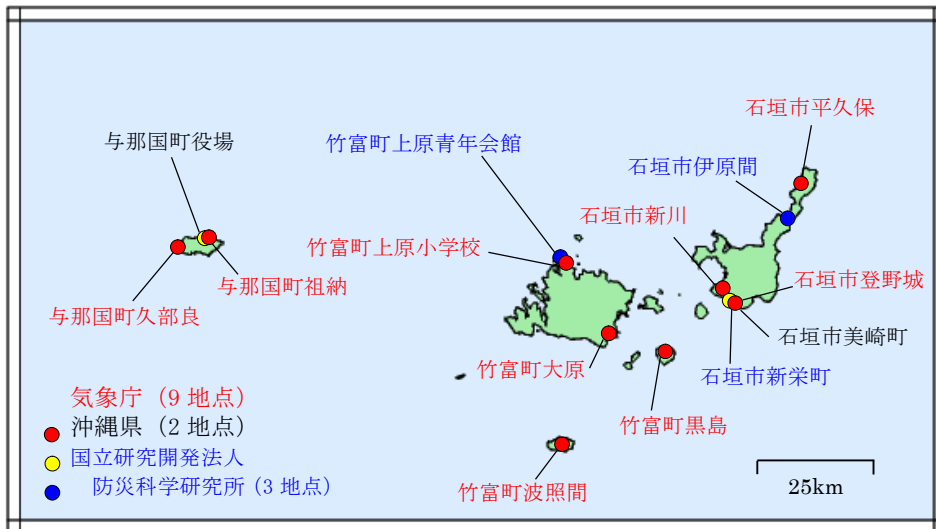
## 八重山地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図



2021年 3月28日15時41分 与那国島近海の地震の震度分布図



### 八重山地方の震度観測地点

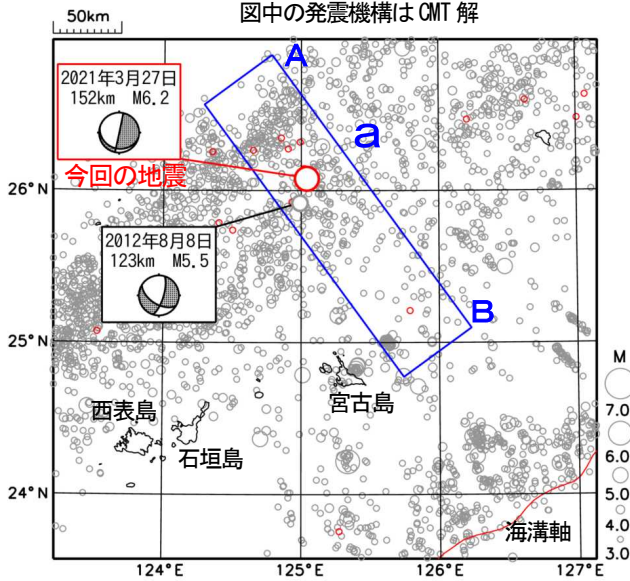


過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます  
 URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>  
 本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2159

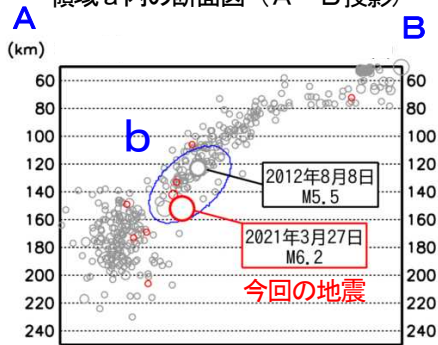
# 3月27日 宮古島北西沖の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2021年3月31日、  
深さ 50～250km、 $M \geq 3.0$ )  
2021年3月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解

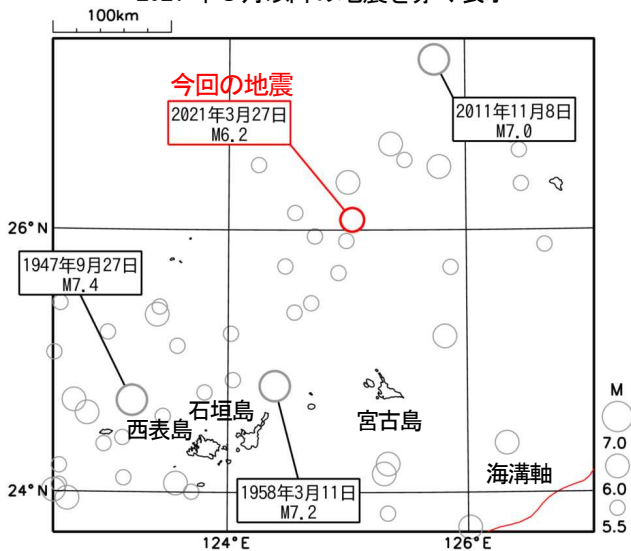


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

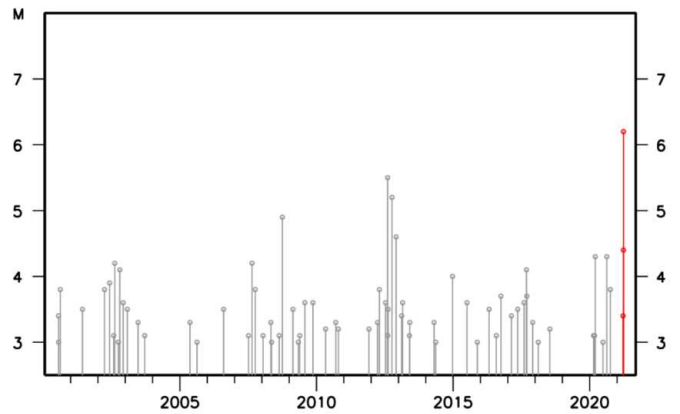
(1919年1月1日～2021年3月31日、  
深さ 50～300km、 $M \geq 5.5$ )  
2021年3月以降の地震を赤く表示



2021年3月27日07時02分に宮古島北西沖の深さ152kmでM6.2の地震 (最大震度2) が発生しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。発震機構 (CMT解) は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型です。

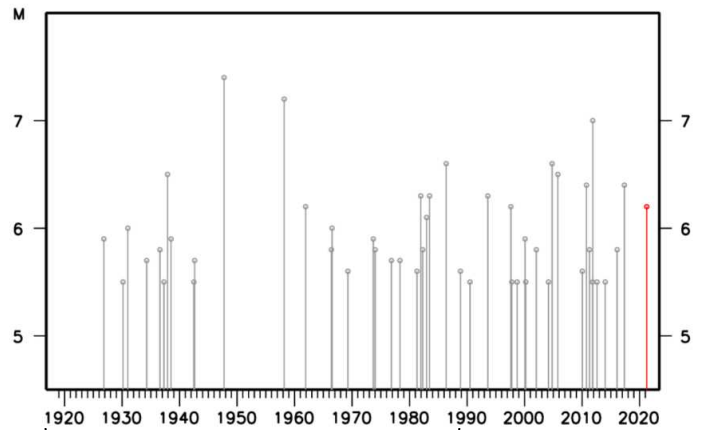
2000年7月以降の活動をみると、この地震の震源付近 (領域b) では、2012年8月8日にM5.5の地震 (最大震度2) が発生しているが、M6.0以上の地震は今回が初めてです。

領域b内のM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、過去にM6.0以上の地震が時々発生しており、1947年9月にはM7.4の地震 (最大震度5) が発生し、先島諸島で死者5人のほか、地割れや落石、山崩れ等の被害が生じました (被害は、「日本被害地震総覧」による)。

左図領域のM-T図



(この期間は検知能力が低い)